

2026年度 安全衛生管理計画

基本理念

「労働者の生命、健康を守る」(働き方改革の実現)

～働く全ての人々に安全・健康を～

建設部門安全衛生管理計画

基本方針 「労働者の生命、健康を守る」の基本理念を基に、真に安全で快適な職場の定着を図り、各作業所において事故・災害ゼロを目指すことで、社会に貢献する企業であり続けることを目的とする。

課題と取組

昨年度発生した災害については、作業手順書における具体的なリスクへの配慮不足、若年作業員への安全教育不足、機械・工具類の不適切な取り扱いなど、基本ルールの認識不足や徹底不足が多く見受けられた。これらの反省を踏まえ、今年度は各作業において、《凡事徹底》および《声掛け》をより一層実践し、常に《人への思いをはせる》姿勢を持ち、仲間の安全を守る意識を、最優先事項として高めることで、ヒューマンエラーの防止や災害につながるリスクの低減、排除につなげる。

目標

1. 死亡・重大事故災害・第三者災害ともゼロ（墜落・転落・重機・飛来落下・熱中症災害防止・墜落制止用器具使用の徹底）
2. 度数率 0.60 以下 強度率 0.01 以下（継続的な労働災害ゼロの達成に向けた取組み実施）

重点施策

1. 事業者としての自主的安全衛生活動の推進
 - ①当社は統括安全衛生管理を確実に実施し、より安全な施工の確立に努める。
 - ②協力会社は安全衛生管理体制を確立し、自主的安全衛生管理の定着を図る。
2. 安全衛生教育の徹底
 - ①当社は社員に対する教育を充実させると共に、協力会社に対する安全衛生教育を積極的に実施し、事業者としての自覚を促す。また、協力会社が実施する安全教育に継続的に関与し、全作業員への安全教育の実効性を高める。
 - ②協力会社は、作業所の職長・安全衛生責任者、及び作業員に対する安全教育を行い、ヒューマンエラー防止の徹底を図る。
3. 作業手順書の確実な実施と確認
 - ①当社はリスクアセスメントに基づいた安全衛生管理規定を確立し、協力会社と共に各作業手順書に反映させる。
 - ②協力会社は作業手順書に基づく、作業の確実な実施と安全対策の確認を行い、職長等の作業リーダーによる管理及び監視の下、不安全行動の防止を徹底する。
4. 働き方改革の実現
 - ①当社、及び協力会社は時間外労働の上限規制適用に対応するため、作業所の休日確保を柱とした労働時間削減に向け強力にサポートを行う。

作業所安全衛生管理計画

基本方針 「労働者の生命、健康を守る」の基本理念を基に、安全をすべての作業に優先させ、真に安全で快適な職場の実現を目指す。

・バリエーションアップ活動委員会の各種活動において、更なる安全意識の高揚を図り災害ゼロを目指す。

目標

【全工期 無事故・無災害】

スローガン

ヒューマンエラーの発生要因を排除し、“無事故・無災害”を目指す

重点施策

1. 作業所安全衛生管理方針、施工計画の明確化（施工計画検討委員会、作業手順書）
 - ・作業所安全衛生管理方針、施工計画を明確にし、協力会社は施工計画に沿った作業手順書を作成し、作業員に周知徹底する。
 - ・統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者、安全衛生責任者、作業主任者、職長、所員、作業員の各々の立場で作業所安全衛生管理方針について真剣に取り組み事故・災害防止に努める。
2. 作業所巡視による指導の徹底（当社安全様式）
 - ・元請社員、及び職長・安全衛生責任者等の作業所管理者は、作業所の巡視（特にイレギュラー作業場所）による点検と是正確認、及び作業員への指導を確実に行う。
3. 危険有害要因の排除（当社安全様式）
 - ・危険作業においては、過去の災害事例も含め協力会社との事前の打合せを綿密に行い、危険有害要因を排除した施工計画に基づき作業を行う。
4. 危険予知活動の徹底（当社安全様式）
 - ・ヒューマンエラーに起因する災害防止のため、作業前の危険予知活動については、職長中心に確実に実施させると共に現地における一人KYの実施を徹底する。
5. 新規入場者並びに外国人労働者への教育の徹底（当社安全様式）
 - ・作業所の新規入場者に対しては確実に新規入場者教育を実施し、協力会社が実施する送り出し教育については実施状況を報告させる。（外国人労働者に関しては、日本語の理解力不足をカバーできるように工夫を図る）
6. 墜落・転落災害の防止（当社ルール）
 - ・墜落・転落災害は死亡事故に直結するため、労働安全衛生法・労働安全衛生規則に基づき、設備を先行し開口部を無くす。
7. 重機事故・災害の防止（当社ルール・安全様式）
 - ・重機事故は重大な災害に直結するため、重機作業計画を綿密に行うとともに、作業中の確認を行う。
8. 飛来落下事故・災害の防止（当社ルール）
 - ・飛来落下事故は重大な災害に直結するため、高所作業並びに近隣公衆等への近接作業における飛来落下防止対策について万全な対策を徹底する。
9. 働き方改革の実現
 - ・無駄のない安全作業計画により効率化を図り、生産性の向上につなげ、時間外労働の上限規制を踏まえた労働時間の計画的な削減を図る。



株式会社 長谷工 コーポレーション